

補助事業番号 24-2-028
補助事業名 平成24年度 障害をもつ人が幸せに暮らせる社会を作る 補助事業
補助事業者名 公益財団法人 日本障害者スポーツ協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

障がい者のスポーツ活動の促進を図るため、全国障害者スポーツ大会やその予選会の開催及び各競技大会を開催し、もって公益の増進に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

- ① [第12回全国障害者スポーツ大会（岐阜県）](#)
- ② [第12回全国障害者スポーツ大会予選会](#)
- ③ [日本車椅子バスケットボール選手権大会（東京）](#)
- ④ [2012パラサイクリング選手権大会の開催](#)
- ⑤ [国際盲人マラソン大会](#)
- ⑥ [ロンドンパラリンピック競技大会日本選手団ユニフォーム経費](#)

2 予想される事業実施効果

(1) 第12回全国障害者スポーツ大会（岐阜県）

開催県では障がい者スポーツの指導員、審判員等、関係者が増え、ボランティアとして大会に関わることにより、一般の人がより障害者スポーツを身近に感じることができ

る。
また、参加する選手は本大会出場を目標にしており、パラリンピック等競技力の高い大会だけでなく本大会は、障がい者がスポーツを始めるきっかけ、続けるモチベーションとなる。



(2) 第12回全国障害者スポーツ大会予選会

9競技12種目の団体競技予選会が全国各ブロック（6～8ブロック）において実施された。予選会に参加する、各地域のチームも年々増加しており、また、予選会実施にあたり、各県障害者スポーツ協会、指導者協議会、地域の各競技団体との連携が深まり、スムー

ズな大会開催をすることができるようになる。



今後も継続し、すべての地域から、すべての競技にチームが出場することを目指す。

(3) 日本車椅子バスケットボール選手権大会（東京）

本大会が国内最高峰の大会として継続実施することにより、選手、チームの目標となり、選手強化の重要な役割を果たす。

また車椅子バスケットボールは、一般競技とルールもほとんど同じで、初めて観戦しても応援しやすい。また、スピード、選手の動きの迫力で、見る人を魅了することができる。本大会を通して広く一般の人に、実際に身近で障がい者スポーツを体感してもらうことにより、障がい者スポーツの応援団を増やすことができる。



(4) 2012パラサイクリング選手権大会の開催

ロンドン2012パラリンピック競技大会において、銅メダルを獲得ならびに自転車競技全3選手の入賞という結果を得られた。北京パラリンピックからクラス分けやルールの変更などがありかなり厳しい状況であったが、アトランタからの連続メダル獲得を継続できたのも本事業による普及・強化の成果である。



(5) 国際盲人マラソン大会

国内で開催される、数少ない国際パラリンピック委員会公認大会で、本大会が継続開催されることにより、他の競技団体も国際大会の誘致や、公認申請を目指すようになる。

また、障がいのあるランナーと一般ランナーと一緒に走るにより伴走等に興味を持つ一般ランナーが増え、障がい者スポーツの振興につながる。



(6) ロンドンパラリンピック競技大会日本選手団ユニフォーム経費

本大会で日本選手団は、金5個、銀5個、銅6個の合計16個のメダルを獲得することができた。特に、ゴールボール女子の金で樽獲得は、パラリンピック団体競技において日本初の快挙となった。ゴールボールの選手が表彰台でオリンピック同じユニフォームを着て金メダルをかけ、それが多くのメディアに取り上げられた。このことで、広く一般の関心を高めることができ、今後の障害者スポーツの振興につながる。



3 本事業により作成した印刷物等

(1) 日本車椅子バスケットボール選手権大会（東京）

- ①ポスター 1,500部
- ②プログラム 3,000部
- ③報告書 900部

(2) 2012パラサイクリング選手権大会の開催

- ①プログラム トラック 40部
ロード 20部

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：公益財団法人日本障害者スポーツ協会

（コウエキザイダンホウジンニホンショウガイシャスポーツキョウカイ）

住 所：103-0013

東京都中央区日本橋人形町 2-14-9 三星ビル 5 階

代表者名：会長 鳥原光憲（トリハラミツノリ）

担当部署：総務部（ソウムブ）

担当者名：岩坪 友子（イワツボトモコ）

電話番号：03-5939-7021

F A X：03-5641-1213

E - m a i l：miyashita@jsad.or.jp

U R L：<http://www.jsad.or.jp>